

「ミサイル配備許さない」



陸自駐屯地前3・21集会

「強行」と怒りの拳 基地建設抗議決議を採択

「地对艦ミサイルはいらない」「保良に弾薬庫建設をするな」などとシュプレヒコールを挙げる参加者
=21日、上野千代田の陸上自衛隊宮古島駐屯地前

ミサイル強行配備に抗議する集会とデモ行進(主催・ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会)が21日、上野千代田の陸上自衛隊宮古島駐屯地前や市役所平良庁舎前で行われた。市民団体らが参加し「地元の声を無視した強行配備だ」と怒りの拳を突き上げた。「千代田の基地への地对艦・地对空ミサイル(誘導弾)車両の搬入強行と、千代田、保良をはじめ、宮古島への軍事施設建設に断固抗議する」とした決議文も採択した。(10面に関連)

集会とデモ行進は3日、宮古島駐屯地にミサイル発射台車両が搬入されたことを受けて実施。地元のみならず、市民団体のほか東京や大阪、福岡、辺野古、石垣島などから約40人が参加した。集会で主催者を代表してあいさつした仲里成繁代表は「ミサイル搭載車両は、攻撃ができる車両。陸自がいよいよ実戦に向けての訓練を始めるということだ」と危機感を募らせた。その上で「陸自は有事の際の抑止力、災害支援といふが、全てが有事を想定し

た車両だ。説明と事実とは違ふ」と指摘し、戦争につながるあらゆるものに反対していく考えを示した。この後、島内外から支援に駆け付けた市民団体の代表らがマイクを持ち、各地で行われている基地建設の状況や反対活動などを報告。「新基地は絶対に通らせない」という民意を伝えていこう」と述べ、全国の市民団体と連携して闘いを継続し盛り上げていくことを確認した。

「住民や住民生活の安全を顧みないミサイルの搬入

と設置に強く抗議し反対する」「平時の訓練や火薬(弾薬)の搬送は、島中に事件事故の危険性をもたらす」などの文言を盛り込んだ抗議決議文を全会一致で採択した。

抗議決議文は、安倍晋三内閣総理大臣、河野太郎防衛大臣、田中利則沖縄防衛局長宛てに送付するほか、佐藤慎二宮古島駐屯地司令へは対応した駐屯地隊員に手渡した。

宮古毎日新聞

発行所
宮古毎日新聞社
沖縄県宮古島市平良字西里337
郵便番号906-0012
郵便振替口座17040-8593551
私書箱・宮古中便第19号
©宮古毎日新聞社2020
代表 0980-72-2343
FAX 0980-72-3733
那覇支社 098-861-9091
FAX 098-861-9092
東京支社 03-5565-3008
FAX 03-5565-3009
ホームページ <http://www.miyakomainichi.com>

商店街でデモ行進

市民団体「弾薬庫いらない」



シュプレヒコールを上げながらデモ行進する住民ら—21日、市場通り

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会は21日、上野千代田での抗議集会の後、市役所平良庁舎前に移動し、約30人が「宮古島に新基地いらない」「保良に弾薬庫いらない」「ミサイル基地いらない」などとシュプレヒコールを上げながら、市場通り、下里通り、マクラム通り、西里通りをデモ行進した。

デモ行進後は再び平良庁舎前で集会を開き、参加者が次々とマイクを握り、自衛隊基地に反対の声を上げた。

参加者は「住民がいらないものが目の前にできてしまった。これは民主主義の

破壊だ。矛盾だらけの自己満足の基地建設だ。矛盾だらけの基地は将来廃虚になつていく。魅力ある宮古島を、こういう汚され方をされたくない。基地では安全

は得られるかもしれないが安心は得られない。危険を呼び込むだけだと話した。別の参加者は「基地は公害の発生源だ。命の水が汚染される恐れがある」と話

した。また別の参加者は「自衛隊車両はこれから千代田と保良を往復するようになるだろう。これにどうあらがっていか考えなければならぬ」と訴えた。